

前期

理系

2020 年度入学試験学力検査問題

数 学

〔 理系学部 75 分 〕

答 案 用 紙 3 枚

注 意

1. 監督員の合図があるまで、問題の内容を見てはいけません。
2. 筆記用具のほか定規、コンパスの使用を認めます。
ただし、分度器の使用は認めません。
3. 受験番号及び氏名は、答案用紙の所定欄に必ず記入してください。

(例) 受験番号 1234567X の場合 →

		1	2	3
4	5	6	7	X

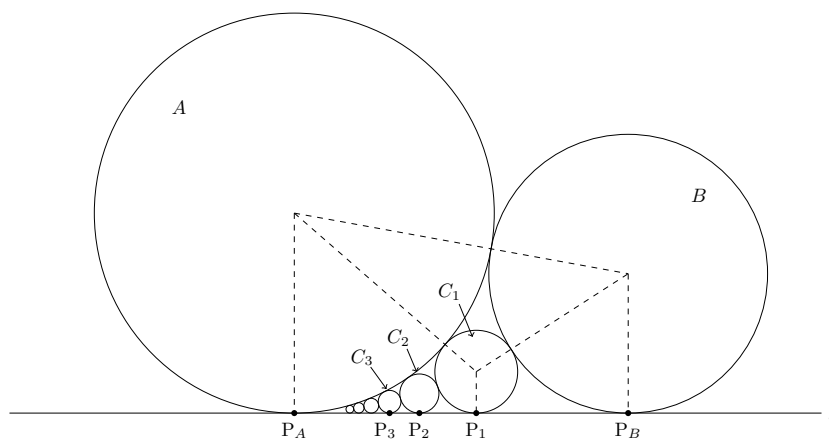
4. 解答には黒鉛筆またはシャープペンシルを使用し、必ず配付された答案用紙に記入してください。
答案用紙には、解答に関係のないことを記入してはいけません。
5. 試験中に不鮮明な印刷等に気付いた時は、手をあげて監督員に申し出てください。
6. 答案用紙を切り取ったり、持ち帰ったりしてはいけません。
7. 問題冊子の余白は利用可能ですが、どのページも切り離してはいけません。
8. 問題冊子は、持ち帰ってください。また、試験終了時刻まで退室できません。

1 $f(x) = \log(x+1)$ とするとき、以下の問いに答えなさい。ただし、 $\log$ は自然対数とする。

- (1) $f(x)$ の不定積分 $\int f(x) dx$ を求めなさい。
- (2) 自然数 n に対し、曲線 $y = f(x)$ 上の点 $(n, f(n))$ における接線を l_n とする。
曲線 $y = f(x)$ と接線 l_n と直線 $x = 2n$ で囲まれた図形の面積 S_n を求めなさい。
- (3) 極限值 $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{S_n}{n}$ を求めなさい。

2 円 A と円 B と直線 l がそれぞれ異なる点で接しているとする。 A と l の接点を P_A とし、 B と l の接点を P_B とする。 C_1 を A と B と l に接する円とする。ただし、 C_1 と l の接点 P_1 は、線分 P_AP_B 上にあるとする。また、 C_2 を A と C_1 と l に接する円とする。ただし、 C_2 と l の接点 P_2 は、線分 P_AP_1 上にあるとする。以下同様に、自然数 n に対し、 C_{n+1} は A と C_n と l に接する円であり、 C_{n+1} と l の接点 P_{n+1} は線分 P_AP_n 上にあるとする。 A の半径を a とし、 B の半径を b とするとき、以下の問いに答えなさい。

- (1) 線分 P_AP_B の長さを a, b を用いて表しなさい。
- (2) C_1 の半径を r_1 とするとき、 $\frac{1}{\sqrt{r_1}}$ を a, b を用いて表しなさい。
- (3) C_n の半径を r_n とするとき、 $\frac{1}{\sqrt{r_n}}$ を a, b, n を用いて表しなさい。
- (4) a と b が $a+b=1$ をみたしながら動くとき、 C_n の半径 r_n の最大値を n を用いて表しなさい。また、そのときの a の値を n を用いて表しなさい。



3 図1のように、グラウンドにかかれた四角形 $A_1A_2A_3A_4$ を考える。 $i = 1, 2, 3, 4$ に対し、頂点 A_i に生徒 S_i が立っているとする。この状態から出発して、自然数 n に対し、次の試行(*)を n 回続けて行った後に、生徒 S_1 が頂点 A_i に立っている確率を $p_i(n)$ とする。

(*) 四角形の辺をひとつ選び、その両端に立っている生徒の位置を交換する。ただし、四角形の辺の選び方は同様に確からしいとする。

例えば、図2は、 $n = 2$ のとき、1回目の試行で辺 A_1A_2 を選び、2回目の試行で辺 A_2A_3 を選んだ後の状態である。以下の問いに答えなさい。

- (1) $p_1(1), p_2(1), p_3(1), p_4(1)$ を求めなさい。
- (2) $i = 1, 2, 3, 4$ とする。このとき、 $p_i(n+1)$ を $p_{i-1}(n), p_i(n), p_{i+1}(n)$ を用いて表しなさい。ただし、 $p_0(n) = p_4(n), p_5(n) = p_1(n)$ とする。
- (3) $p_2(n) = p_4(n) = \frac{1}{4}$ であることを示しなさい。
- (4) $p_1(n)$ を n を用いて表しなさい。

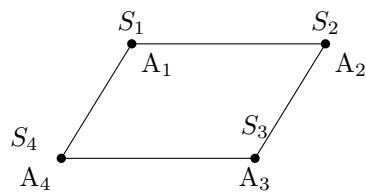


図1

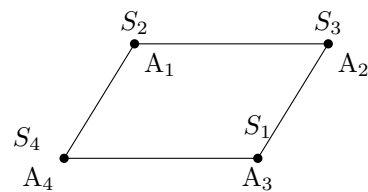


図2

